

《4月の勉強の仕方》

4月は学校の教科書を予習しよう
とにかく教科書を一冊分読み終えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

先週までの4回は、衆議院議員の茂木敏充先生をお迎えしているいろいろなお話をお聞きしました。今日からはまた私一人で担当させていただきますので、よろしく願い致します。時々ゲストの方をお呼びしますので、その折りもぜひお聴き下さい。

この「開倫塾の時間」は、なんと今年の3月で24年目に入った番組です。皆様のおかげで、このように長く続く番組になりました。本当にありがとうございます。

番組では、「どのように勉強したらよいかという勉強の仕方」を、受験生だけではなく社会人も含めた皆さんにお伝えしていますので、活用していただければと思います。

ところで、桜が満開できれいですね。今週は入学式の行われるところが多いようです。日本の入学式に最も似合わしいソメイヨシノがぱっと咲き誇る光景を見ると、私はいつも感激し胸がワクワクします。

2. 4月は学校の教科書を予習しよう とにかく教科書を一冊分読み終えよう

今日の「開倫塾の時間」では、「4月の勉強の仕方」についてお話をさせていただきます。

(1)4月からゴールデン・ウィークが終わるまでの勉強で一番大切なことは、学校からいただいた教科書や副教材を一科目でも多く、少しでも多く予習することです。1年間の勉強の結果はゴールデン・ウィークが終わるまでに新しい教科書をどのくらい予習したかで決まる、予習が大事というのが、私の考えです。

(2)ただし、予習といっても、難しいお話ではありません。例えば、小学生・中学生・高校生の皆さんは国語の教科書を学校からいただいたら、本文だけでよいですから小説を読むようなつもりで最後まで読んでみるとよいと思います。これが、私の言うゴールデン・ウィークが終わるまでにすべき予習です。

(3)このような形でもよいから予習を行うと、この学年ではこの科目はこのような内容を学習するのだなということがわかります。国語なら、気に入った作品や気に入った文章も見つかります。一通りでも教科書を読んでみると、1年間の学習内容が頭に入るので、とてもよい予習の仕方であると言えます。

(4)このときに、もし可能であれば、文章を目で追うだけでなく声を出して読む、つまり音読するとよいと思います。もっと言えば、もし今年に力をつけたい科目の一つが国語であるならば、片手に辞書、つまり国語辞典を持って、わからない語句の意味を調べながら読んでいくともっとよい予習になります。漢字で読み方のわからないものがあれば、漢和辞典を用いて調べること。さらに本格的な予習は、ノートを1冊用意して、そこに調べた語句の意味を書いていくことです。

(5)ここまでは国語の予習の仕方についてお話しましたが、他の科目も同様です。とにかく教科書を一通り読んでみるとよいですね。そして、わからない語句の意味を辞書で調べ、ノートに書いておくようにしましょう。素晴らしい予習になります。辞書で調べ、ノートに書いたことばの意味を何回も何回も読み直し、正確に覚えるともっと素晴らしい予習になります。

(6)予習は、英語・数学・国語・理科・社会の主要5科目と呼ばれる科目だけでなく、音楽・保健体育・技術家庭・美術など実技4科目と呼ばれている科目でもできまし、予習をすると役に立ちます。

(7)例えば、音楽の予習の仕方をお話します。皆さんの中には音符が読めたり、楽器が演奏できたりする方も随分いらっしゃると思います。そこで、ピアノが弾け、楽譜の読める方は、音楽の教科書に出ている作品をピアノで弾いてみるとよいでしょう。もちろん両手で弾けるとよいのですが、片手で主旋律を弾くだけでもよいと思います。そうすると、このような曲を今年1年間で学習するのだなとわかります。できれば、ゆっくりでよいですから全曲を弾いてみましょう。1年間かけて、学校の教科書に出ている曲の中から、自分の大好きな曲をつくり、自分のものにするのも素晴らしいと思います。

私の場合は片手でしかピアノを弾くことができないのですが、両手で弾くことができればもっと楽しいだろうなと思います。ですから、両手で弾ける方は両手でやってみましょうね。また、縦笛、リコーダーで吹いてみるのもよいでしょう。音楽がもっと好きになりますよ。このような予習もぜひ試していただければと思います。

(8)英語は声に出して読むと意外に読めます。英語を習い始めたばかりの中学1年生は大変かもしれませんが、英語を何年間か勉強している方は教科書をいただいたら、声を出して読んでみるとよいと思います。わからない単語が出てきたら辞書で調べ、それをノートに記録しておくことも予習の1つと言えます。読み方がわからない単語は、発音記号で読み方を確かめることです。そのために、発音記号の読み方を一度は勉強しておくことをお勧めします。

(9)数学は、予習をするのは難しいと思っている人が多いようですね。しかし、そう思わずに、わかるところだけでよいですから教科書を読んで基本的な考えを知り、例題を理解。その上で、問題を解いてみるとよいと思います。そして、解けなかった問題はそのままにして、ノートにスペースを空けておく。授業のときに、そこに先生の説明を書くともよいのです。数学の得意な方の中には、1章分の予習は3時間もあればできるという方もいます。得意な方ほど、誰に遠慮をすることなくどんどん予習をしていただきたいと思います。予習に遠慮は一切不要です。

ただし、高校の数学は難しくなりますので、高校生の方は教科書ガイドのような参考書を横に置いてそれを見ながら予習をするのも一つのやり方ですね。学校で先生の授業を聴くようなつも

りで、教科書ガイドを一語一語丁寧に読んで理解したり、一語一語書き写して、ああこれはこうなのかと理解、納得するのもよい予習の方法です。

(10)社会や理科も全く同じです。社会は、学校からいただいた地理の教科書を、小説を読むようなつもりでゆっくり読んでみて下さい。地図には地名やその場所が載っていますので、地図帳を横に置いて、地名が出てきたら地図帳を見てその場所を確認するようにしましょう。そうすると、ここはこのようなどころなのだなということがわかります。社会の好きな方は、学校からいただいた資料集を見ながら1つ1つの事柄を確かめていくとよいと思います。地理、歴史、公民、倫理や現代社会の用語集は必ず手元におくことも大切です。

(11)理科も教科書をよく読み、簡単な実験があったら自分でちょっとやってみるのもよいでしょう。また、よくわからなければ、学年別参考書を辞書代わりに用いるとよいでしょう。

(12)このように、いろいろな科目で簡単に予習をすることができます。ですから、あまり気負わずに、自分の好きな科目だけでもよいですから教科書を1冊読んでみることをお勧めします。

(13)世の中に出て一番役に立つ科目は、保健体育です。特に保健のところをじっくり読むと、病気をしない身体になり長生きができます。

(14)また、技術家庭は家庭生活を営む上でとても大切な科目です。

(15)美術も豊かな生活を送る上で大切です。美術館に行くときは必ず、美術の教科書を持つことも大切です。

3. おわりに

(1)以上のように、学校で勉強する科目はすべて役に立ちます。そこで、学校の授業が始まる前にたとえ少しでも教科書・資料集・参考書などをざっと読んでみることを、学年の最初の週に行うとよいと思います。できればゴールデン・ウィークが終わるくらいまでに予習を少しずつ進めていけば、今年は素晴らしい1年になりますのでぜひお試し下さい。

(2)日本各地や世界各地を旅行するときには、たとえ短い時間でも、その土地土地にある文化や芸術に触れることを心掛けましょう。人生が豊かになります。そのときに一番役に立つのが、学校時代の美術の教科書、それに歴史や地理の教科書です。音楽会に行くときに一番役に立つのが、学校時代の音楽の教科書です。

(3)話は変わりますが、まだ桜が咲いている場所がありましたら、お花見にもぜひ出かけていただきたいと思います。桜は、満開のときも素晴らしいですが、咲き始めや散りかけたときも趣があって素晴らしいものです。

今年度もまたよろしくお願ひ致します。

2011年5月12日訂正、追記、林明夫